



私たちの家庭から出る生活排水で川や海が汚れている！

伊勢湾流域は、産業技術の中核的地域でありながら、約6割が森林で覆われて豊かな自然に恵まれています。そこを水源として流れる川の水は、私たちの生活にわかりながら伊勢湾へと流れ込んでいます。

伊勢湾は、外海との水交換がうまくできにくい水域となっているため、排水による水質汚濁が広がってきました。

近年、工場などの産業排水は、改善されつつありますが、依然として伊勢湾には赤潮や苦潮(青潮)が発生しており、**家庭などから出される生活排水が水質汚濁の原因の一つとして問題となっています。**

生活排水による環境への影響

くみ取り・単独処理浄化槽

し尿だけを処理して、台所や風呂の水などの生活雑排水は、そのまま側溝や水路へ流されるため、川や海が汚れます。

汲み取り

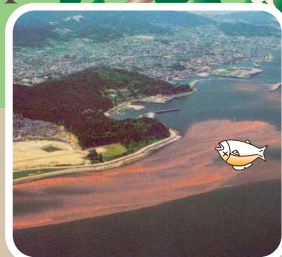
し尿だけを処理して、台所や風呂の水などの生活雑排水は、そのまま側溝や水路へ流されるため、川や海が汚れます。

合併処理浄化槽

合併処理浄化槽

合併浄化槽は下水道に比べ赤潮発生の原因となる窒素やリンがうまく除去されず、川・海の汚れの原因になります。維持管理を適切に行わないと浄化能力が十分に働かず、悪臭を放ったり、側溝などからハエや蚊が多く発生します。

下水道に接続すると



あかしお 赤潮



にかしお 苦潮

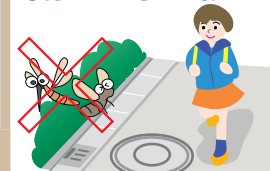
下水道の役割

川や海がよみがえります



集められた下水をきれいに処理して放流し、川や海の水質を改善します。

衛生的で快適な暮らし



汚れた水が溜まらず、害虫や悪臭の発生を防ぎます。

人と水とのふれあいの場をつくります



処理水を自然に返し、せせらぎなど、失われた水辺を回復します。

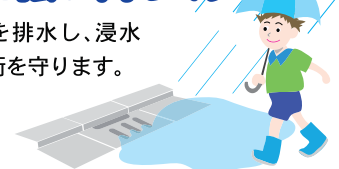
リサイクル・省エネに貢献します



おてい汚泥処理により、レンガやセメント原料、貴重なリンの回収、発電などに再利用します。

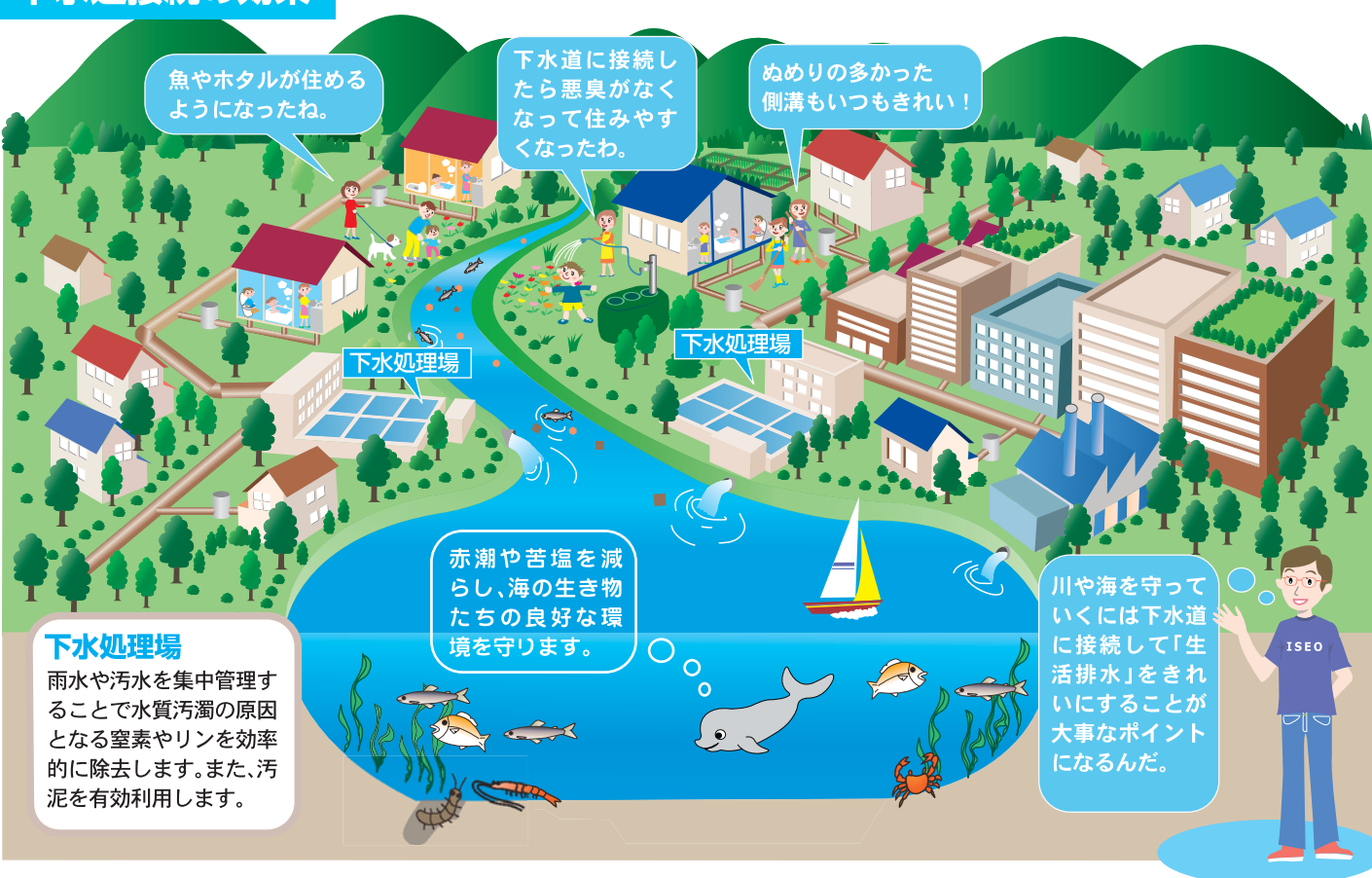
雨に強い街づくり

雨水を排水し、浸水から街を守ります。



下水道接続の効果

下水道は河川や伊勢湾の水質保全をし、循環型社会を支えます。



下水処理場

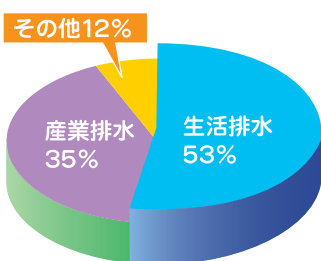
雨水や汚水を集中管理することで水質汚濁の原因となる窒素やリンを効率的に除去します。また、汚泥を有効利用します。

一人ひとりが流す汚れは小さいものでも集まると大変な量になるのね。



意外と多い生活排水

川や海を汚している原因で一番大きいのが家庭などから出される生活系の排水です。

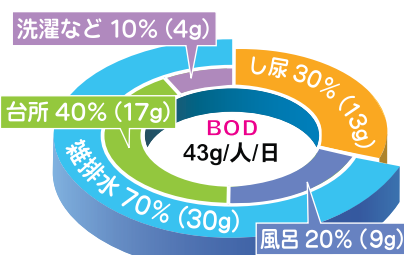


CODの発生負荷量
(平成16年度:伊勢湾)
(出典)環境省:発生負荷量管理等調査

COD
化学的酸素要求量
主に、海の水の汚れを薬品で科学的に分解する時に消費される酸素の量で、数値が大きいほど水が汚れています。

1人1日当たりの生活排水の汚れの内訳

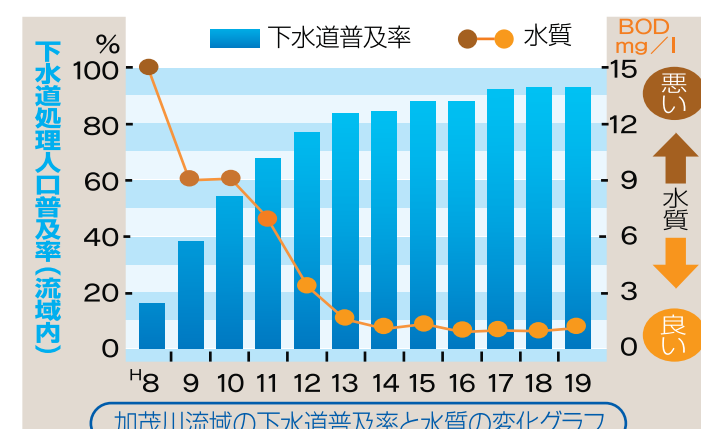
1人が1日に使う水の量は約250ℓにおよび、43gの汚れ(BOD負荷量)を出すといわれています。この生活排水の汚れのうち、し尿以外の台所などから出る雑排水による汚れが約7割を占めています。



(出典)環境省:生活排水読本

BOD
生物化学的酸素要求量
主に、川の水の汚れを微生物によって分解する時に消費される酸素の量で、数値が大きいほど水が汚れています。

下水道による川の水質改善の事例(愛知県豊田市)



加茂川流域の下水道普及率と水質の変化グラフ

下水道の整備が進むにつれて川の水質が良くなりました。



平成8年当時の加茂川
親水護岸が整備された当時、下水道の整備が進んでおらず、水質も悪かった。

平成17年の加茂川
魚が増えたため、水辺で遊ぶ子供たちも見受けられるようになった。